

# 令和7年10月三田市教育委員会定例会会議録

## ○開催日及び場所

令和7年10月28日(火)午後2時00分開会  
午後3時50分閉会  
三田市役所 南分館 601会議室

## ○議事日程

日程第1 開会  
日程第2 前回会議録の報告、承認  
日程第3 会議録署名委員指名  
日程第4 会期の決定  
日程第5 教育長の報告  
日程第6 議事 議事第25号  
日程第7 報告事項 報告第27号から報告第28号  
日程第8 その他

## ○会議に出席した委員(5名)

1番 加嶋幸彦 2番 大野裕己  
3番 中野文雄 4番 三木尚美  
5番 ルーベッシュ裕子

## ○説明のため出席した者(11名)

学校教育部長 山本直也 学校教育部次長 井上久敏  
(兼学校再編担当)  
学校教育部次長 久保修一 教育総務課長 井上尚博  
(兼教育総務課担当課長)  
学校再編課長 上野 樹 学校教育課長 西浦健司  
地域クラブ推進課長 藤田崇宏 教育支援課長 市原 敦  
教育研修所長 出藏裕昭 学校給食課長 宮城信之  
幼児教育振興課長 神影保緒

## ○代表学校長(2名)

中学校校長会代表 奥 雅喜  
小学校校長会代表 村岡智行

## ○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課 斉藤健史  
上仲あさ美  
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 ルーベッシュ裕子

日程第1 開 会

○教育長  
(加嶋 幸彦)

ただいまから令和7年10月第324回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長  
(加嶋 幸彦)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

(令和7年9月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長  
(加嶋 幸彦)

ご質問等ございませんでしょうか。  
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長  
(加嶋 幸彦)

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。  
会議録署名委員は、5番 ルーベッシュ裕子 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長  
(加嶋 幸彦)

会期は本日一日、令和7年10月28日火曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長  
(加嶋 幸彦)

1) 兵庫県教頭協議会研修大会阪神北大会(10/3)  
兵庫県教頭協議会研修大会阪神北大会が郷の音ホールで開催

され、来賓として出席しました。この大会は毎年1回、全県の小中学校の教頭先生が一堂に会して行われるもので、今年度は、阪神北地区の三田市が会場となりました。講演会では、元阪神タイガース選手の鳥谷敬氏が「変化に向き合う力・伝える力～教育の現場で今、必要なこと～」をテーマに講演されました。鳥谷氏からは、「人を変えるにはまず自分から」という主題設定のもと、阪神タイガースを強くするために考え方の転換があり、それが長期的なビジョンで行われて今回のリーグ優勝に繋がったこと、野球を通じて、①個人の力を磨いてチーム力がより高まること②リーダーシップをとるためにコミュニケーション力を高め一貫性を保持すること（相手がどのように受け止めるかを想定する）を学んだこと、心の三大要素（つながり、有能性、自主性）の中で、まずは「自主性」が大切であり、今のこどもに失われているように感じているとのご自身の考え方を示されました。最後に、大リーガーの大谷翔平選手を例に、「人に達成できないことに挑戦させること」の必要性に触れられ、「大人が自らの枠にとらわれず子どもの可能性を見極め、チャンスを与えることが、子どもに夢を描くことにつながる」「最終の『成果』より、日々の『成長』を評価する」と述べられ、野球での経験で得たことをわかりやすく楽しくご講演くださいました。その後の研究発表では、神戸市立の小学校から「子どもが主役の『行きたくなる学校づくり』学年（チーム）担任制の取組」、同じく中学校から、不登校対策として「学びの多様化学校・サポートルームの開設」、芦屋市から、連携力の強化「市内3中学校8小学校、小さな市ならではの教頭会」について、それぞれ発表がありました。管理職同士、あるいは先生方のつながりの大切さが自分に気づかない力を生み出し、様々な取組に反映していくことや、不登校の現状を踏まえ、児童生徒を受け入れる体制づくりをどのように構築していくかを改めて考える機会となりました。

## 2) 三田市立学校小学生理科・生活科作品展並びに中学生理科自由研究作品展見学等（10/7）

市内の公立小・中学校の児童生徒が夏休みに取り組んだ作品・自由研究、あわせて約240点が人と自然の博物館で展示されました。作成者自身が丁寧に手書きで書かれ、研究を始める際の動機、研究内容、考察などがわかりやすくまとめられていました。中には、写真や手書きの絵、グラフを用いて結果分析を行ったものも多く、子どもたちの深い学びが実

践されていることがうかがえました。特に優れた研究に対して11月15日に表彰する予定です。

### 3) 兵庫県都市教育長協議会（10/20）

加東市立図書館で開催された兵庫県都市教育長協議会では、教職員の働き方改革の取組状況や学校プールについて協議を行いました。働き方改革については、教頭先生の超過勤務が多いことを踏まえ、スクールサポートスタッフの全校配置、勤怠管理の向上、学校閉庁日の設定、文書の電子化・簡素化、学校徴収金の公会計化、Teamsなどのソフトの効果的な活用や勤怠管理システムによる服務の一元管理に取り組んでいる状況が把握できました。学校プールについては、公営、民営プールの活用状況、水泳授業の効果的な運用の様子が発表されました。

### 4) 臨時市議会（10/20から10/24）

臨時市議会では、令和6年度決算について採決されるとともに、3つの議案について常任委員会に付託され審議が行われました。あわせて、議長、副議長や委員会の選任が行われました。

### 5) 小学校音楽会（10/25）

10月25日に小野小学校で開催された音楽会に出席しました。当日は、全校児童による合唱のあと、1, 2年生、3, 4年生、5, 6年生による合奏・合唱のあと、再び全員合唱でフィナーレとなりました。保護者、地域の皆さまに見守られながら、子どもたち一人ひとりが主役となり、普段の練習成果を発揮し、自分の力を精一杯表現している姿がとても印象的でした。同校の児童数規模は、3, 4年、5, 6年が複式学級を編成しており、先生方は子どもたちへの指導とともに、楽器のセッティング、指揮、ピアノやギターなどの伴奏、合唱にあわせた演出など、一人何役もこなし、きめ細かい対応に努めておられました。校長先生はじめ先生方に心から敬意を表します。音楽会終了後には、保護者や地域の皆さん、来賓が会場の後片付けを協力して行い、地域が一体となった素晴らしい音楽会でした。

私からは以上です。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。  
(1) 附属機関の委員その他法令に基づく各種委員を委嘱し、又は任命することについて

**【三田市教育委員会事務委任規則第1条第14号】**

議案第25号「三田市教育振興基本計画検討委員会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いいたします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

議案第25号「三田市教育振興基本計画検討委員会委員の委嘱について」事務局から説明

○教育長  
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございませんか。  
なければこのように承認します。

**日程第7 報 告 事 項**

○教育長  
(加嶋 幸彦)

続きまして報告事項に移ります。  
報告第27号「令和8年度市立幼稚園・認定こども園の園児数見込について」事務局から説明をお願いします。

○幼児教育振興課長  
(神影 保緒)

報告第27号「令和8年度市立幼稚園・認定こども園の園児数見込について」事務局から説明

○教育長  
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。

○教育委員  
(中野 文雄)

来年度の園児数見込を踏まえて、担当課として園児数の動向をどのように考えておられますか。特に、認定こども園みつば幼稚園と、ありまふじ幼稚園はそれぞれ統合した園でもありますので、事務局の想定されていた部分と、現時点での来年度園児数をどのように見られているか教えてください。

○幼児教育振興課長  
(神影 保緒)

ここ数年の動きでは、1号認定の幼稚園対象の園児が減少傾向にあり、2号認定の保育園対象が増えてきています。今年度4月に開園しました認定こども園ありまふじ幼稚園は、住

民登録の地区別の就学前児童数から見ても増えていくと予想しており、2号認定の定員割合を増やしています。その結果、2号認定は、これまでの13名から17名となり、定員15名より増えた状況です。反対に、認定こども園みつば幼稚園では、2号認定の3歳児が0人となっていますので、この分析はこれから進めたいと思います。地域には対象年齢の子どもがおりますので、おそらく民間の保育園や認定こども園へ行かれていると思います。また、最近の傾向としまして、3歳になってから保育園へ預ける保護者の方もいますので、3歳を迎えてすぐどこかの園へ預けていると考えられます。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

他にご質問等ございますか。

○教育委員  
(大野 裕己)

今年度4月に認定こども園ありまふじ幼稚園が開園し、認定こども園みつば幼稚園と2園揃って形がはっきり見えてきたと思いますが、市立の認定こども園としての特色やメリットが、市民へどれくらい伝わっているのか、より効果的に広報する余地があるのかどうか教えてください。

○幼児教育振興課長  
(神影 保緒)

認定こども園について、これからのPR方法が今後の園児数にも大きく影響してくると思っています。特に認定こども園ありまふじ幼稚園につきましては、今年度ホームページを見やすくし、園内の新しくきれいな施設等も写真で掲載することで、見られた方に少しでも興味を持っていただき、幼稚園へ見学に行こうと思っていただけるようPRの工夫を進めていきます。また、統合前の幼稚園の園区へ出向いて、アウトリーチ型の保育を進めたり、就学前児童と保護者を対象としたPRの場を設けていますので、今後もPRの強化を進めていきたいと思っています。

○教育委員  
(大野 裕己)

運営方針など市のホームページを見ても、運営方針等検討委員会でも説明会等が丁寧に進められていると判断されていることを見ておりました。広がった園区への丁寧な説明や、新しく創り上げることに関係者の努力を感じているところですので、積極的に検証されて広報等を進められることで、市民

の方々の期待値も高まることを期待します。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

他にご意見等ございますか。

先日、私も認定こども園みつば幼稚園を訪問する機会があり、先生方が子どもたちに丁寧に対応されており、元気いっぱいの子どもの姿を見せていただきました。実際、市立認定こども園をどの程度知っていただいているのか気になるところですが、例えば通常保育時に園の見学を希望する方がおられた場合、随時対応はいただけるのですか。

○幼児教育振興課長  
(神影 保緒)

見学につきましては、定期的に園庭解放を実施していたり、年に数回は園内施設の解放も行っております。また、子育て支援の相談も園で実施されていますので、広く知っていただく機会となっております。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

他にご意見等ございますか。

なければこのように報告します。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

続きまして、報告第28号「11月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

報告第28号「11月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長  
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。

なければこのように進めてまいりますので、11月もよろしくをお願いします。

## 日程第8 その他の報告

○教育長  
(加嶋 幸彦)

では、次回、11月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長  
(井上 尚博)

11月教育委員会定例会の開催日時は令和7年11月28日(金)午前10時00分から、南分館601会議室で予定しています。よろしくお願いいたします。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表  
(奥 雅喜)

○学校行事について

10月になり気候もようやく秋らしくなり、学習に部活動に適した季節になりましたが、日差しの強い日はまだまだ生徒の体調面も心配な面もありました。また、今年度は全校10月中に、文化祭と体育大会の2つの大きな行事を実施しますので忙しい月となっています。全中学校が、体育大会を終えました。学校の規模により実施可能な種目も違いましたが、どの学校の生徒もしっかり準備をし、体育大会当日にも精一杯取り組みました。地域の皆様や保護者の皆様もたくさん来場され、生徒の活躍を見守っていただきました。本当に有難い限りです。

○部活動について

夏の総体で3年生が引退して以降、1・2年生が活動の中心の新チームになった運動部の、初の公式戦となる三田市新人大会が9月末に、丹有地区新人大会が今月中旬に行われました。引退した先輩や家族、友人たちの熱く心強い応援を受けながら懸命に競技に励みました。県大会に出場する学校もありますが、新人大会は、協会と中学校体育連盟の共催であるため、今月末から12月下旬まで種目ごとに日程が違います。サッカーでは5校合同チームが県大会出場を勝ち取りました。ユニフォームがないため、地区大会まではビブスで出場しましたが、県大会ではルール上それが不可能なため、ユニフォームをどうするのか等の問題もあります。どの競技も三田市そして丹有の代表として、正々堂々と競技に臨んでくれることと期待しています。また、総体種目の一つの「駅伝競走」ですが、29日に丹有大会が予定されています。文化部においては、文化祭での発表に向けて熱心に取り組みました。1校が文化祭を終え、今週は7校が文化祭を開催予定です。1校のみ、文化祭と体育大会を入れ替えて実施します。

3年生にとっては、中学校生活最後の発表の場になります。思いを込めて作品作りに励みました。なかでも吹奏楽部は、文化祭で演奏する曲だけにとどまらず、定期演奏会や地域の祭りで披露した曲など、様々な楽曲の練習に、寸暇を惜しまず取り組みました。地域の皆様や保護者の皆様の心に届く素晴らしい演奏を聞かせてくれました。また、文化祭といえば合唱です。どの学校も取組期間中、午後になると合唱練習などに励み、校舎のあちらこちらから美しいハーモニーや大きな歌声が響いています。

文化祭が終わりますと、3年生の進路決定の時期が目前に迫ってきます。11月には期末考査も実施され、生徒や保護者と相談や連絡を密にとり、生徒一人ひとりの将来の夢を叶えるための進路実現に向けて全職員で全力で取り組んでいきたいと考えています。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

○小学校校長代表  
(村岡 智行)

○学校行事について

小学校では、先週の土曜日に音楽会を終えた学校があれば、今週の音楽会に向けての練習に励んでいる学校もあります。来月7日には連合音楽会を予定しています。また、図工や書写も、11月29日からの作品展にむけ、着実に取組を進めています。芸術の秋にふさわしく、子どもたちが自らの表現力に磨きをかけ、意欲的に取り組んでいる様子がかえまます。また11月は、人権に係る参観日を予定している学校も多くあり、学級懇談会なども開催し、子どもたちだけでなく保護者とも人権について考え、意見交流を進める予定です。その他にも11月には、地域の人権研修会や防災訓練など、学校と地域が連携、協力しながら進める行事を予定している学校もあります。これらの行事は学校の役割、地域の役割などについて考えるよい機会ともなっています。

○指定研究校研究発表会について

各校では、市の指定研究を受けた取組も活発に進められています。市の指定を受けこれまで取り組んできた研究や研修の成果を発表する会が、11月には4つの小学校で、1月2月には5つの小学校と特別支援学校で開催されます。この他にも積極的に授業公開を行う学校、また、研究グループでの公開授業研究などもあり、こうした場が、先生方のよき学びの

場となり、授業力向上につながってほしいと願っているところです。

○小学校長会より

小学校長会においては、2名が10月16・17日に、福岡県で開催された全国連合小学校長会研究協議会に参加してきました。その全体会において、文部科学省審議官から、9月に発表された次期学習指導要領の基本的な考え方をもとに説明がありました。その中では、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにするために①「主体的対話的で深い学び」の実装、②多様性の包摂、③実現可能性の確保、の3点を三位一体として具現化していくと述べられていました。次期学習指導要領に向けては、今後各教科等のワーキンググループなどを通して、より具体的な内容へと検討が進められます。校長会でも、その内容、方向性を注視しながら、よりよい教育活動ができるよう管理職としての研修にも努め、これからの教育活動につないでいきたいと考えております。

最後に朝夕寒くなってまいりました。感染症対策を含め、健康管理に十分気を付けながら、残りの2学期を充実させていきたいと思っております。今後ともご指導、ご支援をよろしく願います。

○教育長  
(加嶋 幸彦)

ご報告ありがとうございました。

以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。